

氏名	安里 和晃
職位	COE 特定准教授
研究概要	
<p>当該年度の研究は①看護・介護・家事労働の国際移動、②結婚移民、③送り出し国の政策比較、④社会統合政策の4つの柱から構成されている。①については経済連携協定に伴う看護師・介護福祉士候補者の受け入れと動向が主たる対象である。②については送り出し国としてタイ、受け入れ国として台湾を取り上げた。ここでは、福祉レジームの展開が大きく結婚と関わっていることが明らかにされた。③については今年のインドネシア・フィリピンに続き、ベトナムとカンボジア人労働者に対して聞き取り調査を行った。ベトナムについては国際移動を制度化しレントシーキングを行う政府の国家戦略について明らかにした。2009年度は社会統合政策を新たな研究の柱として位置付け、ノルウェー、ベルギー、イタリア、オランダ、キプロス等で調査を行いOECDや欧州評議会、UNESCOから聞き取りを行った。韓国や台湾といったアジア諸国でも国際結婚と少子化対策という点から社会統合政策が展開していることを検討した。2009年度は講演依頼が多く、海外からの招へい報告が2つ、国内からの招へいが5つ、合計7つの招へい講演があった。また、テレビ出演が4、ラジオが1、新聞のコメントを含む掲載が把握している分で6件あった。</p>	
教育概要	
<p>第1回、第2回次世代グローバルワークショップの企画など起案、拠点委員会・運営委員会との調整、統括、プロシーディングスの編集。英文校閲制度、外国語発表演習、外国語学習補助制度起案、統括。台湾大学との学術交流会における企画、司会、発表。ソウル大学日本研究所との交流会における企画、司会。ビデオライブラリー教材作成。海外パートナー拠点との交渉・調整（フィリピン大学、シンガポール大学）。次世代研究・ユニットの成果に対するコメント、成果報告会司会。コアプロジェクト国際移動統括。講義社会学講読（英語文献講読）、社会学特殊講義（移民政策論）担当。国際セミナーの企画、実施。</p>	
業績リスト	
<p>安里和晃（2009）「国際ケア労働市場の形成 — 制度的・構造的観点から」長野ひろ子編『ジェンダー史叢書第6巻 経済と消費社会』236-258、明石書店</p> <p>安里和晃（2009）「東アジアにおけるケアの「家族化政策」と外国人家事労働者」『福祉社会学研究』No.6、10-25（招待論文）</p> <p>安里和晃（2009）「ケアの確保をめぐる引き起こされる国際移動 — 移動する人々は多様性の一部か」『現代思想』2月号、91-105</p> <p>安里和晃・前川典子編（2009）『始動する外国人材による看護・介護 — 受け入れ国と送り出し国の対話』笹川平和財団</p> <p>ASATO, Wako “Narrowing the Gap: Migrants at Home, Institutions and Marriage Migrants in Taiwan”, Conference on Transnational Mobilities for Care: State, Market and Family Dynamics in Asia, National University of Singapore, Sept. 11, 2009.（招聘）</p> <p>ASATO, Wako “Japanese Experience in Elder Care: A Collaborative Research Report”, 2009 Mansfield Conference, “Methuselah’s Challenge: Ageing in Asia and America”, Sept. 24, 2009, University of Montana.（招聘）</p>	

